

滋賀銀行 会社説明会

チェンジ&チャレンジ

～ファースト・コミュニケーションバンクを目指して～

2018年9月21日
株式会社 滋賀銀行（8366）
頭取 高橋 祥二郎



- I. 滋賀銀行の概要**
- II. 2018年3月期決算の概要**
- III. 生産性向上への取り組み**
- IV. 課題解決型ビジネス**
- V. S D G s への取り組み**



I . 滋賀銀行の概要



滋賀銀行の概要

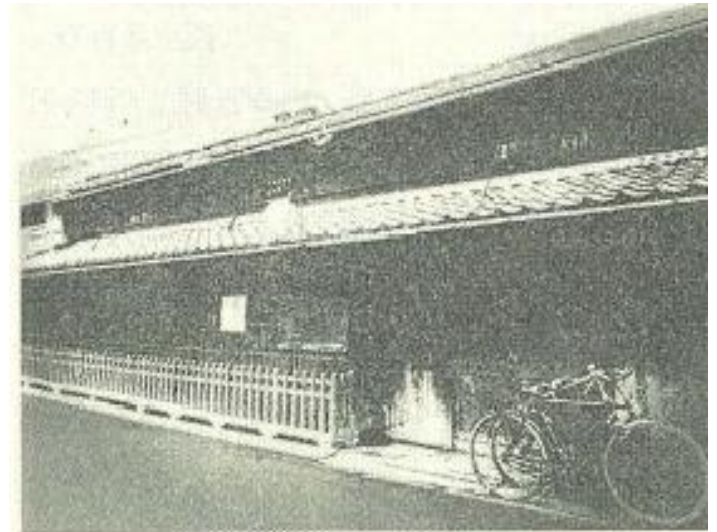


設 立	1933年(昭和8年)10月1日
総 資 産	5兆8,570億円
従 業 員 数	2,057人
証 券 コ ー ド	8366
店 舗 数	137カ店 (うち代理店29カ店、海外1カ店)
預 金 残 高	4兆7,851億円(譲渡性預金含む)
貸 出 金 残 高	3兆6,314億円
自 己 資 本 比 率	単体:16.64% 連結:16.98%
格 付	A+ (JCR) A+ (R&I)

2018年3月31日現在

滋賀銀行の歴史

1879年(M12)年1月	第百卅三国立銀行 設立 大蔵省が彦根に国立銀行を創立する件を認可 第百卅三国立銀行の名称を付与
1881年(M14年)12月	八幡銀行 設立 県下初の私立銀行として創立願認可
1933年(S 8年)10月	滋賀銀行 設立 百卅三銀行(彦根市本店)と 八幡銀行(近江八幡市本店)が対等合併
1934年(S9年)3月	行章を制定
1938年(S13年)10月	京都支店 開設
1941年(S16年)3月	大阪支店 開設
1946年(S21年)7月	東京支店 開設
1951年(S26年)5月	外国為替業務 取扱開始
1965年(S40年)5月	名古屋支店 開設
1966年(S41年)1月	行是を制定
1977年(S52年)10月	大阪証券取引所(市場第2部) 京都証券取引所に上場
1979年(S54年)12月	実質預金1兆円を達成
1987年(S62年)5月	東京証券取引所(市場第1部)に上場
2007年(H19年)4月	CSR憲章(経営理念)を制定
2013年(H25年)10月	創立80周年
2016年(H28年)2月	三重支店 開設
2016年(H28年)4月	第6次中期経営計画スタート(期間:3年間)



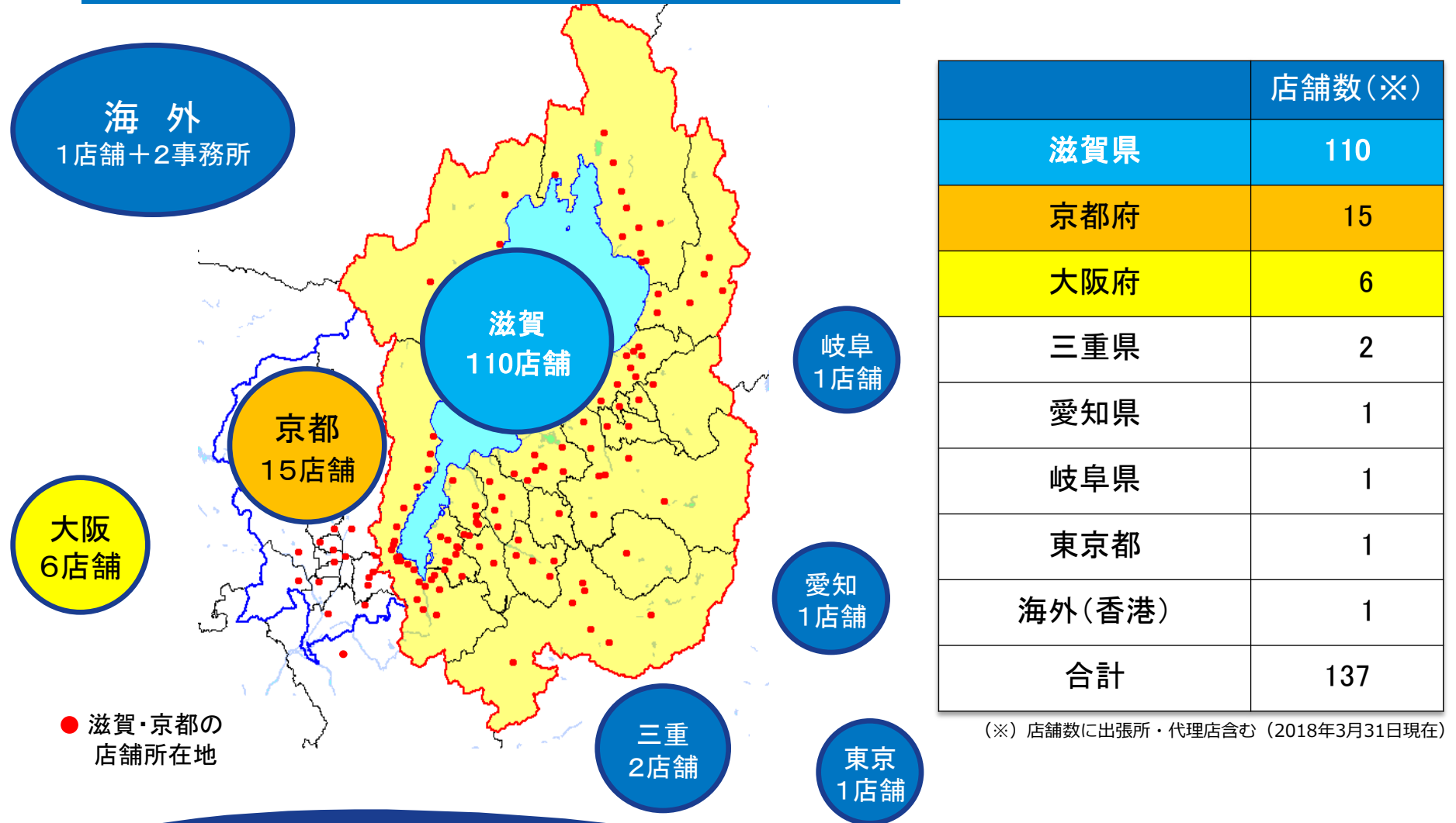
第百三十三国立銀行本店



当行営業用パンフレット(1937年)

店舗ネットワーク

「しがぎん」の店舗展開(にじみ出し戦略)



Ⅱ.2018年3月期決算の概要



2018年3月期決算 損益の状況

- 業務粗利益が減少し、当期純利益は減益

□ 単体

【単位：億円】

	2017.3	2018.3	前期比
業務粗利益	572	548	① △24
資金利益	483	464	△19
うち貸出金利息	380	373	△6
うち有価証券利息配当金	136	134	△1
うち預金等利息 (△)	16	15	△0
役務取引等利益	65	67	2
その他業務利益	23	16	△7
経費	414	412	△2
人件費 (△)	220	215	△4
物件費 (△)	167	170	2
税金 (△)	26	26	△0
実質業務純益	158	135	△22
一般貸倒引当金繰入額 (△)	—	—	—
業務純益	158	135	△22
臨時損益	34	40	6
うち株式等関係損益	16	33	16
経常利益	192	176	△15
特別損益	△4	2	7
税引前当期純利益	187	178	△8
当期純利益	139	124	② △14
与信コスト	4	3	△1

<ポイント>

① 業務粗利益 (△24億円)

- ・ 資金利益は、貸出金利息の減少
外貨調達コストの増加等により
前期比19億円減少。
- ・ その他業務利益は債券等関係損益
を中心に前期比7億円減少。

<ポイント>

② 当期純利益 (△14億円)

- ・ 株式等関係損益が16億円増加する
も業務粗利益減少を吸収できず、
当期純利益は減益。

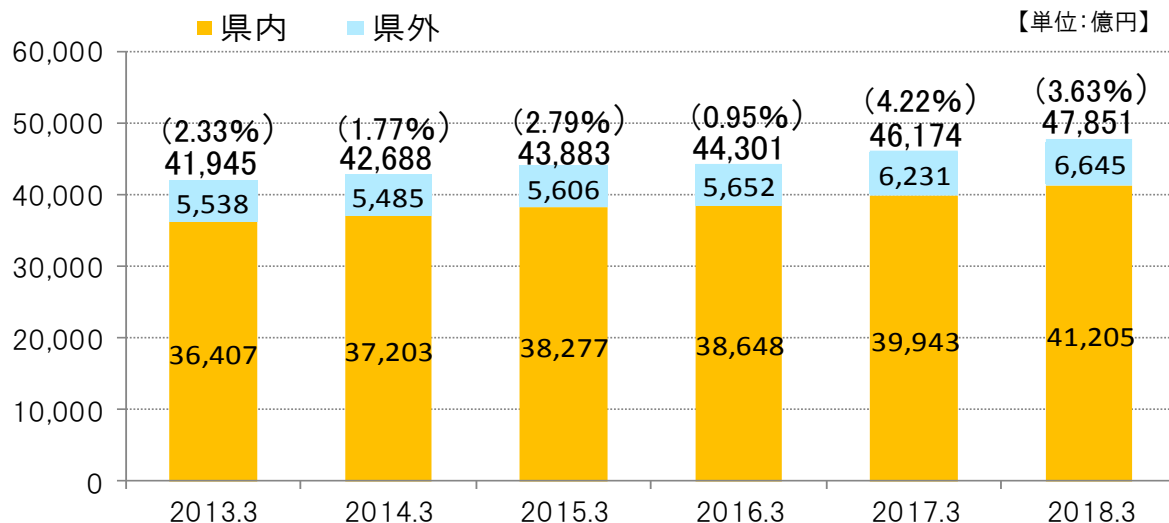
□ 連結

【単位：億円】

	2017.3	2018.3	前期比
経常利益	212	196	△15
親会社株主に帰属 する当期純利益	148	138	△10

預貸金残高(期末残高)

総預金残高

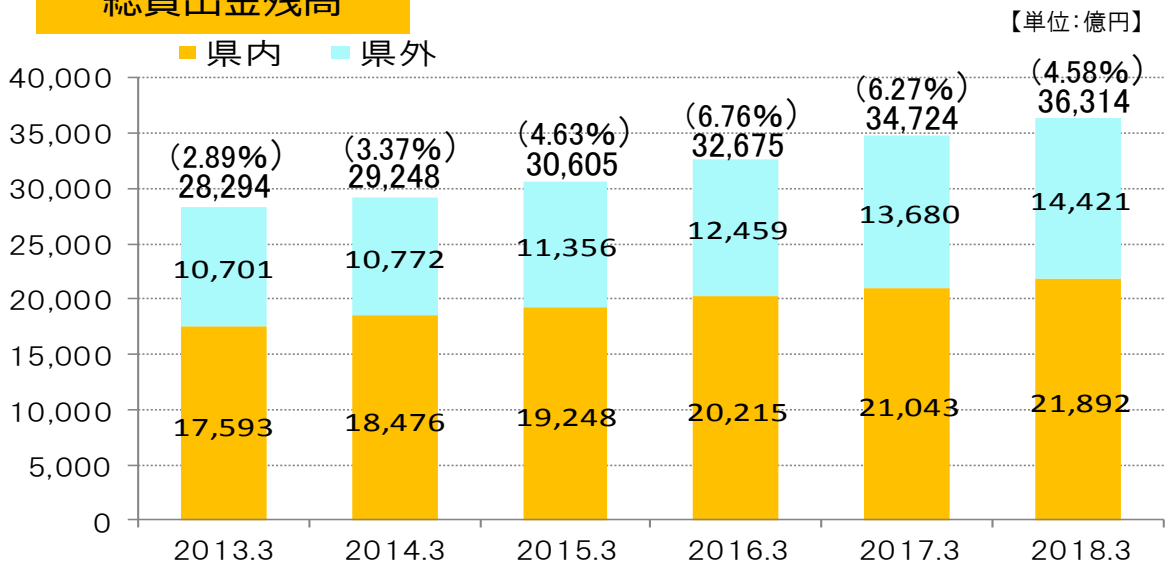


<ポイント>

全体では前期比1,676億円増加。

個人預金 +781億円
 法人預金 +731億円
 譲渡性預金 △22億円

総貸出金残高



<ポイント>

全体では前期比1,590億円増加。

エリア別内訳 (概算)
 滋賀県内 849億円
 京都 319億円
 大阪 189億円
 東京東海 229億円

(※)カッコ内は前年からの増減率。

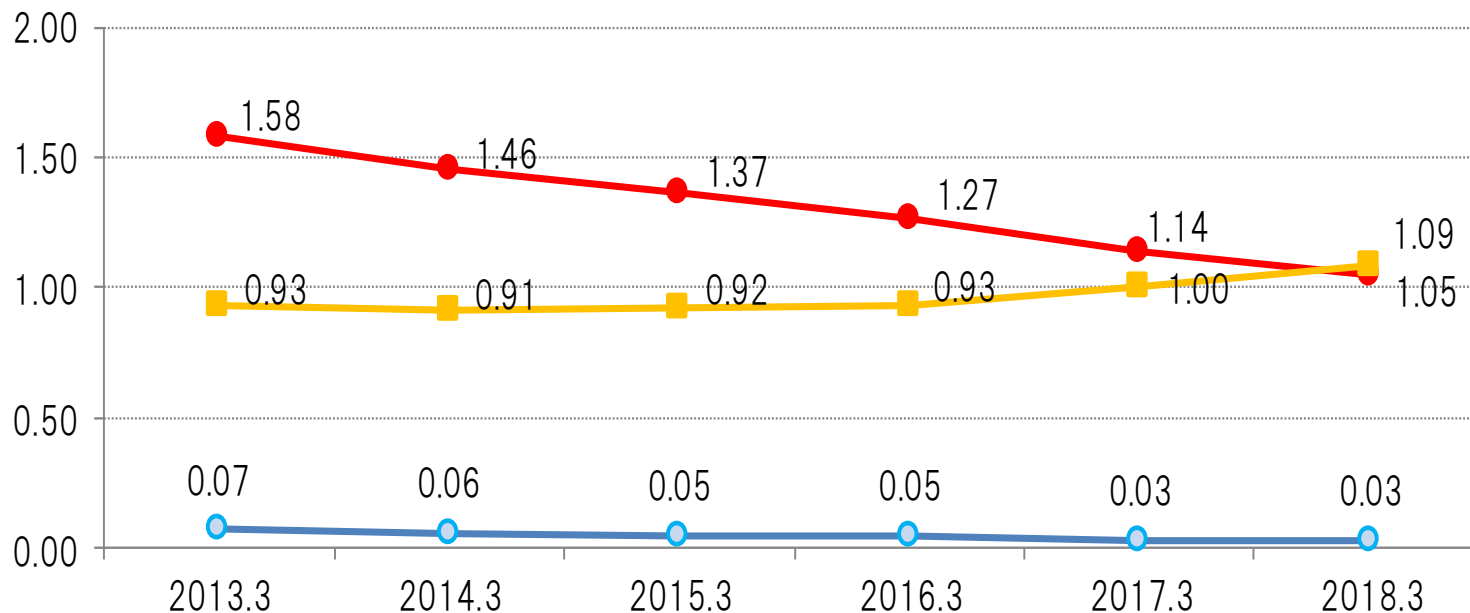
貸出金・預金・有価証券利回り

【単位：%】

項目	2013.3	2014.3	2015.3	2016.3	2017.3	2018.3	前期比
貸出金利回り	1.58	1.46	1.37	1.27	1.14	1.05	△0.09
有価証券利回り	0.93	0.91	0.92	0.93	1.00	1.09	0.09
預金等利回り	0.07	0.06	0.05	0.05	0.03	0.03	—

【単位：%】

● 貸出金利回り ■ 有価証券利回り ○ 預金等利回り



挑戦指標の進捗状況

6次中計挑戦指標	2019.3 計画	2016.3 実績	2017.3 実績	2018.3 実績
総預り資産(末残) (総預金+投資信託+公共債+金融商品仲介)	50,000億円	46,441億円	48,257億円	50,030億円 達成
総貸出金(末残)	35,000億円	32,675億円	34,724億円	36,314億円 達成
滋賀県内貸出金シェア(%) (商工中金他一部の金融機関を除く)	50%	47.32%	48.05%	48.35%

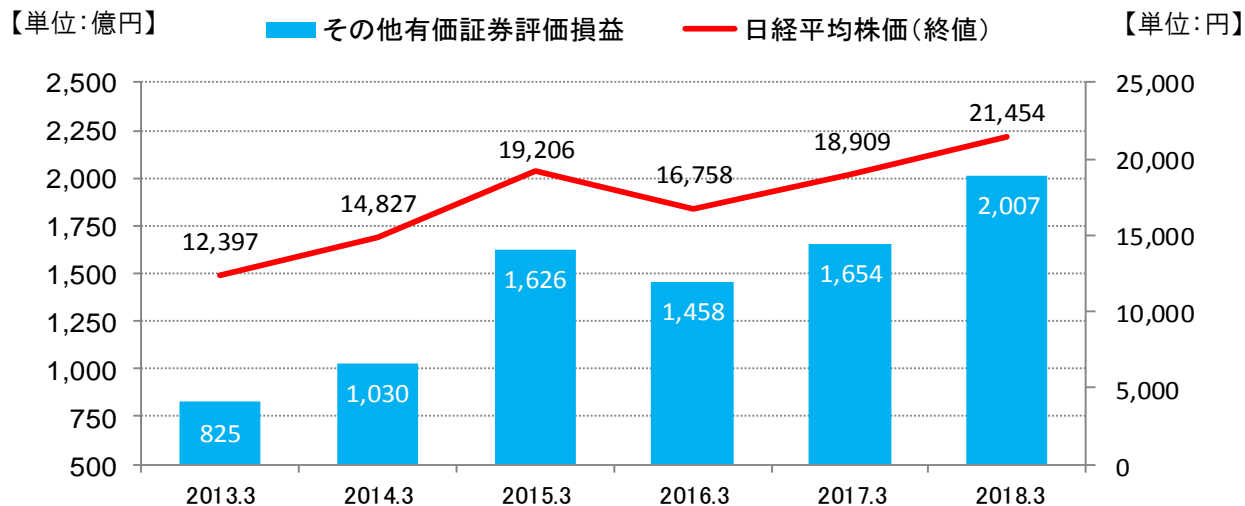
<ご参考>

貸出金シェア順位 (地銀・第二地銀105行中)	—	4位	3位	—
預金シェア順位 (地銀・第二地銀105行中)	—	7位	6位	—

(※) シェア順位は金融ジャーナルより

有価証券評価損益と総自己資本比率

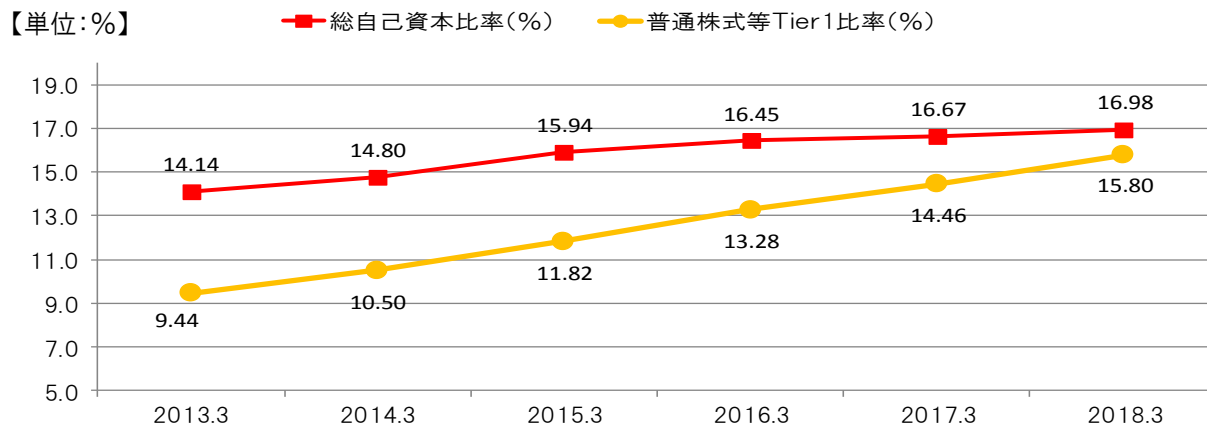
有価証券評価損益



<ポイント>

- ・有価証券評価損益は2,007億円と地方銀行でトップクラス
- ・日経平均株価上昇に伴って増加。

総自己資本比率



<ポイント>

- ・総自己資本比率は16.98%と健全性は十分。

2019年3月期 業績予想

□単体 主要勘定（通期の期中平均残高） 【金額単位：億円】

	予想 平均残高	前期比較	増減率
預金等（譲渡性預金含む）	47,436	1,131	2.4%
貸出金	36,651	1,330	3.7%
有価証券	12,269	△19	△0.2%

□単体 利回り 【単位：％】

	予想 利回り	前期比較
預金等（譲渡性預金含む）	0.05	0.02
貸出金	1.02	△0.03
有価証券	1.31	0.22

□単体業績予想 【単位：億円】

	2018.3 実績	2019.3 予想	比較
経常利益	176	180	3
当期純利益	124	125	0

□連結業績予想 【単位：億円】

	2018.3 実績	2019.3 予想	比較
経常利益	196	190	△6
当期純利益（※）	138	130	△8

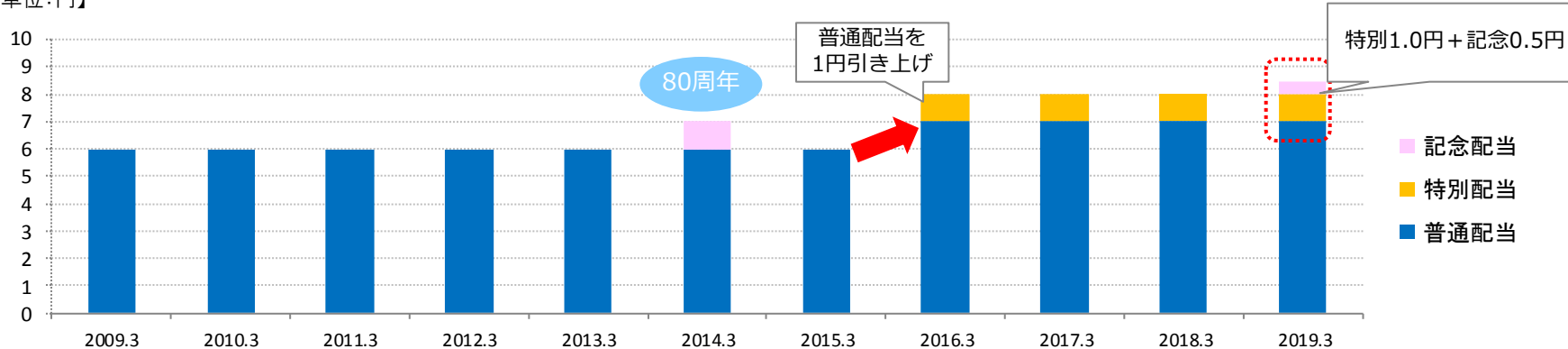
※親会社株主に帰属する当期純利益

株主還元

- 2016年3月期より普通配当を7円に引き上げし、業績動向に応じた特別配当を実施。
- 2019年度は、普通配当7.0円＋特別配当1.0円＋記念配当0.5円＝8.5円を予定。

項目	2009.3	2010.3	2011.3	2012.3	2013.3	2014.3	2015.3	2016.3	2017.3	2018.3	2019.3 予想
単体当期純利益(億円)	△166	39	38	73	48	101	125	147	139	124	125
連結当期純利益(億円)	△162	43	46	82	55	110	136	155	148	138	130
1株あたり年間配当金(円)	6	6	6	6	6	7	6	8	8	8	8.5
単体配当性向(%)	-	40.5	41.2	21.5	32.8	18.1	12.5	14.1	14.9	16.7	17.7
連結配当性向(%)	-	36.6	33.9	19.2	28.6	16.7	11.6	13.4	14.0	15.0	17.0

【単位:円】



(※) 2018.10に5対1の株式併合を予定しているが過去との比較のため併合前の配当金額にて表記

Ⅲ.生産性向上への取り組み



従業員一人当たりの生産効率

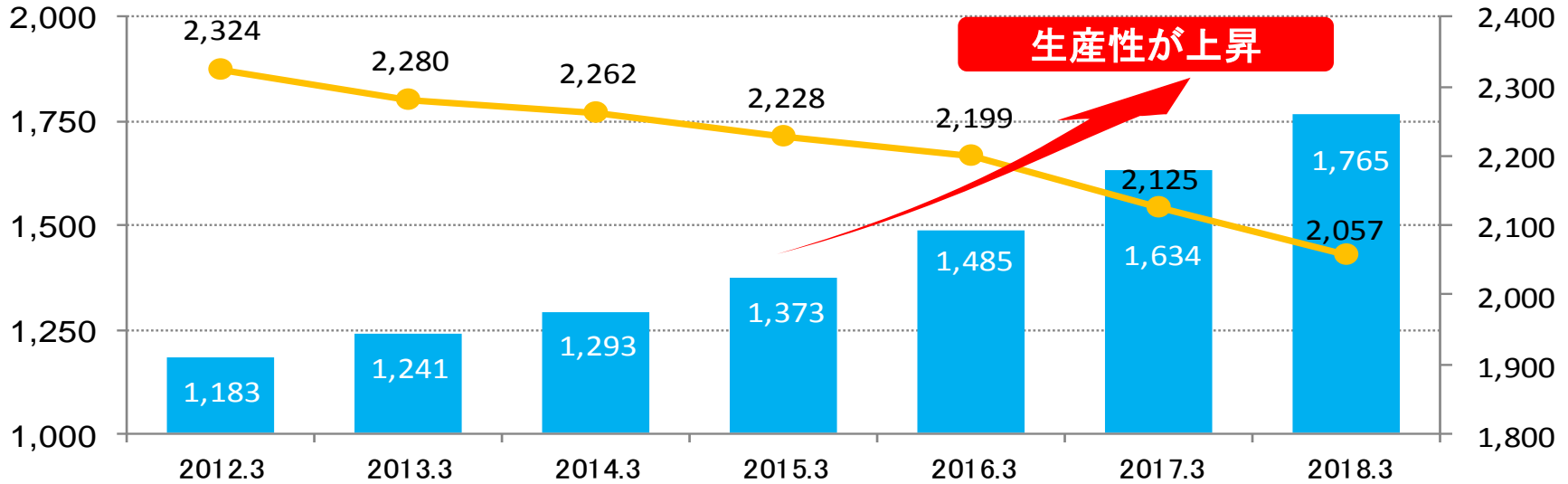
従業員一人当たり貸出金

【単位:百万円】

■ 従業員一人当たり貸出金

● 従業員数

【単位:人】



<営業店オペレーション改革>

お客様の利便性の向上

店頭
セミセルフ化

ATMの
機能強化

店頭事務の見直し

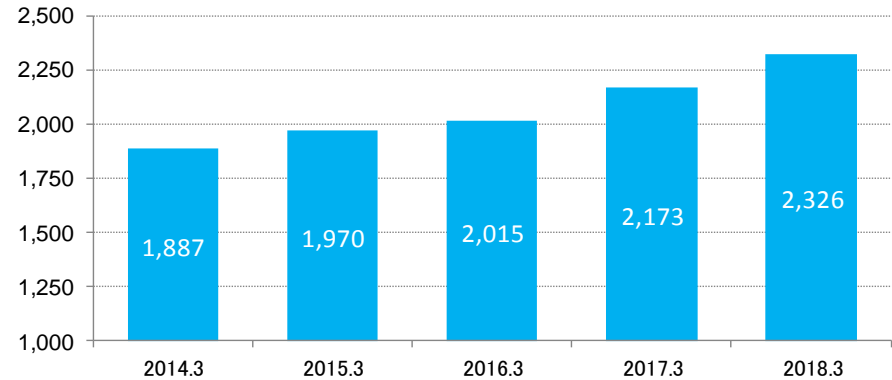
ペーパーレス

センター集中
処理の拡大



従業員一人当たり預金

【単位:百万円】



マーケットと時流に応じた店舗機能の見直し

店舗数	2002.3	～	2017.3	2018.3	2019.3 見込み	2018—2002 差額
支店	117		98	94	95	△23
出張所	22		21	14	13	△8
代理店	2		18	29	25	+27
合計	141		137	137	133	△4

注: 2017.3の代理店18と2018.3の代理店29の間には、11カ店の増減を示す矢印と「11カ店」というラベルが記載されています。

<ポイント>

- ・ 2002.3と2018.3の比較で代理店が27カ店増加。
- ・ 直近1年間では、11カ店の代理店化を実施。
- ・ 2019.3見込み
 - ①4代理店を統合し、利便性確保のため移動金融車を導入
 - ②大阪北法人営業部の支店化を実施



お客さま利便性の向上への取り組み

滋賀・京都・大阪でのATMネットワーク拡大、磁気修復機能を追加



通帳の磁気修復機能を追加

生産性向上を支えるICT基盤の拡充

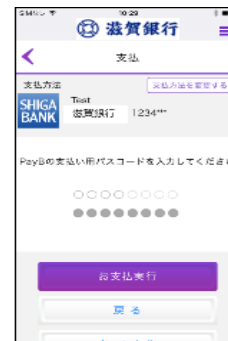
1. アプリ起動
払込票のバーコードをスキャン



2. 支払情報確認



3. 暗証番号入力



4. 支払完了

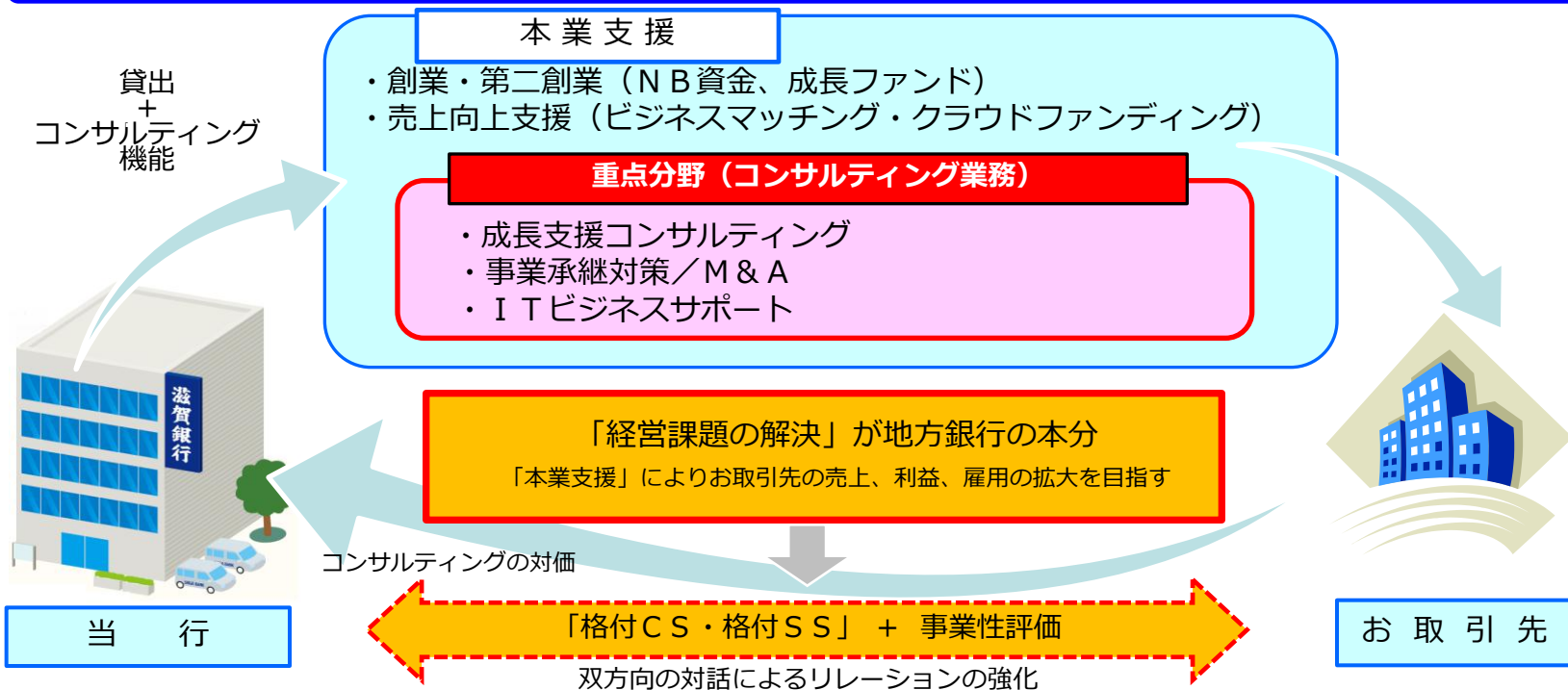


IV. 課題解決型ビジネス

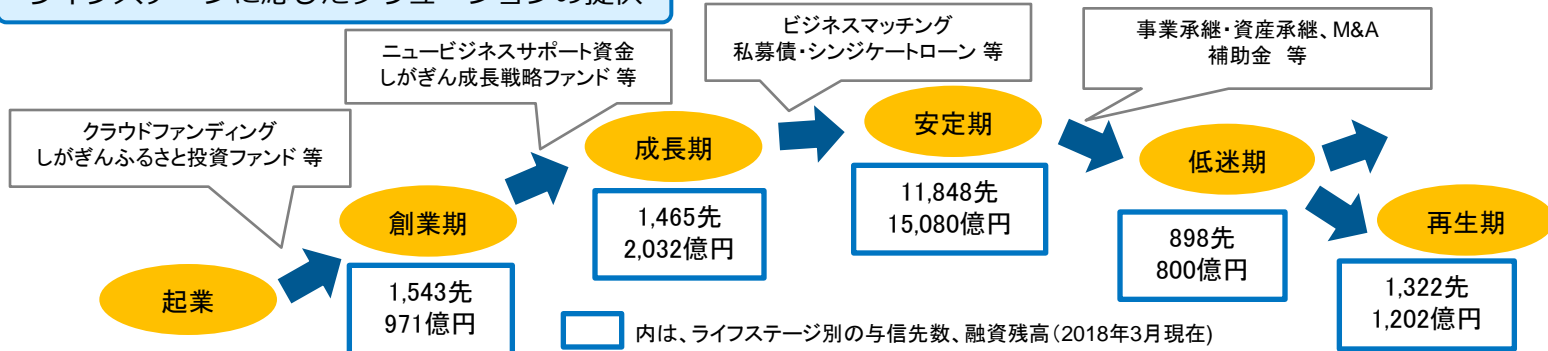


課題解決型ビジネスの全体像

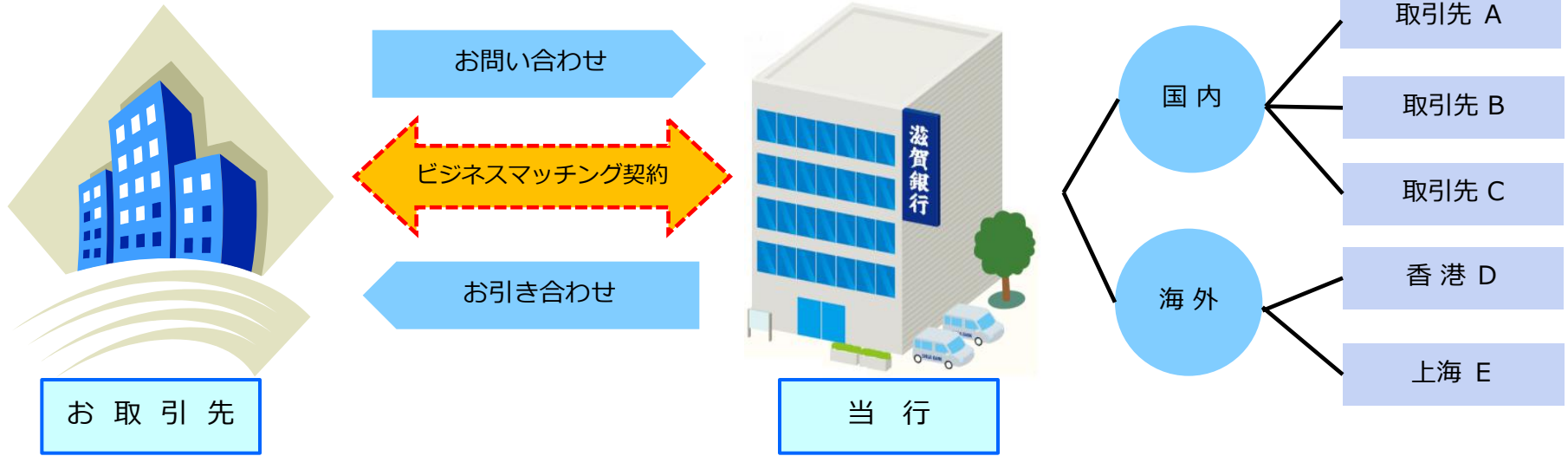
本業支援：お取引先のニーズに応じて融資・コンサルティングに結び付ける



ライフステージに応じたソリューションの提供



ビジネスマッチング



エコビジネスマッチングフェア

- ・環境に特化した当行主催の展示商談会。
- ・92社団体が出展。



地方銀行フードセレクション

- ・全国から831社の食品関連企業が出展し、当行取引先からは16社が出展。

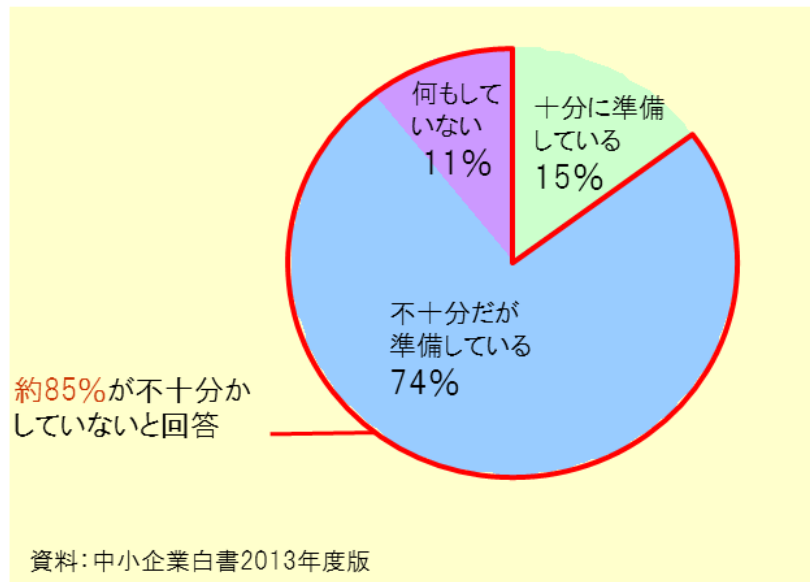


事業承継、M & Aサポート

- お取引先のニーズに合わせて事業承継をサポート。
- 経営課題を最適な手段で解決。



現経営者の事業承継の準備状況



V. S D G s への取り組み



しがぎんSDGs宣言

地銀初

持続可能な社会の実現に向けて「しがぎんSDGs宣言」を表明

「しがぎんSDGs宣言」

「しがぎん」は、CSR憲章（経営理念）に掲げる「共存共栄」の精神のもと、国連が提唱する持続可能な開発目標（SDGs）を私たちの企業行動につなげ、地域の社会的課題解決と経済成長の両立をはかり、持続可能な社会の実現に努めてまいります。

2017.11.22

取締役代表 高橋 祥二郎

重点項目（ターゲット 2030）

- 地域経済の創造**
金融の力で、社会的課題の解決やイノベーションの促進による新たなビジネスモデルを創出するとともに、地域の魅力を育み、人口減少に歯止めをかける地域経済を創造します。
- 地球環境の持続性**
「循環経済」を軸としたCSR経営を推進し、地球環境の持続可能な社会の実現に努めます。
- 多様な人材の育成**
働きがいを高めた人材の獲得により、すべての人々に合った働きがいを創出し、社会の発展を促すことにより、社会の持続可能な社会の実現に努めます。



持続可能な地域社会の実現

戦略的CSRへの挑戦
第6次中期経営計画

CSR憲章（経営理念）

「地域社会」「役職員」「地球環境」
との共存共栄

行是
自分にきびしく 人には親切 社会につくす

商人道徳「三方よし」

売り手よし 買い手よし 世間よし

SDGsを
活用して
CSR経営
をさらに深化

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

世界を変えるための17の目標



水質浄化に向けた取り組み事例



金融機関初のSDGs融資商品

- 株式会社ウイルステージ（本社：滋賀県草津市、代表取締役：大谷洋士）は、**鎌倉市にある円覚寺の妙香池の水質を浄化**させた実績を持つ。
- その経験を活かし、「**皇居外苑濠（日比谷濠）**」をアオコのない水辺に再生するためのプロジェクト「正式名称：アオコ対策技術実証試験業務（日比谷濠）」を同社が受託。
- 当行は「ニュービジネスサポート資金（SDGsプラン）」第1号を実行し、持続可能な社会づくりに貢献する事業をサポート。

Before



汚れがたまり
底が見えない

After



水質が改善

写真) ウイルステージ提供

琵琶パールの復活事例

- 昭和の終わりから平成の初め頃、琵琶湖にカナダモ等の外来種の藻が繁殖し真珠の母貝が減少。
- 当行はCSR活動により環境保全に協力するとともに、クラウドファンディングによる資金調達も紹介。
- 琵琶パール復活に貢献。

CSR活動による環境保全

ヨシ苗植え



ヨシ刈り



いきものがたり活動

外来魚駆除・釣り



ニゴロブナ・ワタカの放流



約30年前



琵琶湖の生態系が崩れて
真珠の母貝となるイケ
チョウ貝が激減

現状



琵琶パール

復活

資金調達方法支援

クラウドファンディング



持続可能な成長を支える「人財」

持続可能な成長を支える「人財」を育てる ～一人ひとりのちからを最大限に発揮できる職場づくり～

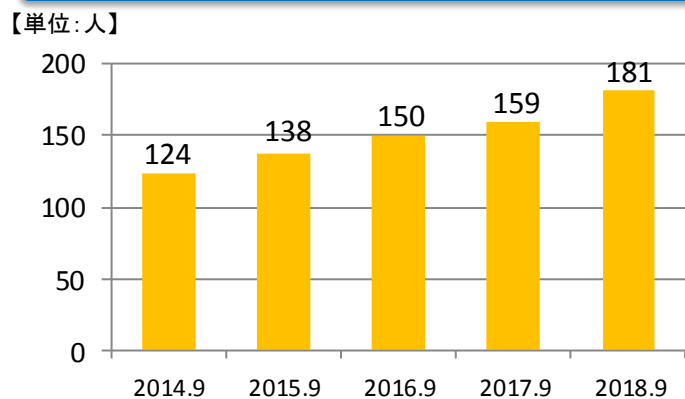


心豊かに生き生きと働ける職場づくり (ES)

一人ひとりに向き合い、上司と部下が面談する「はなし合い制度」を実施



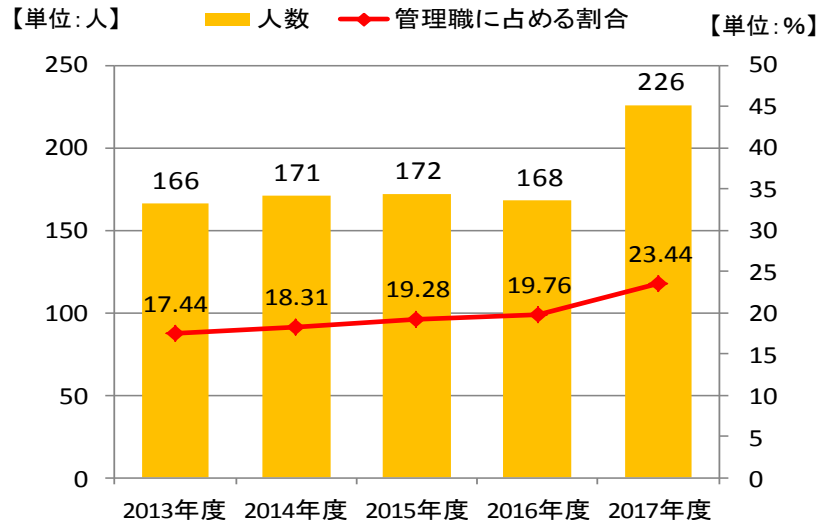
F P 1級取得者の推移



(※) 2018.9は、9月13日時点。それ以前は9月末時点。

女性管理職比率の推移

女性管理職の人数、管理職に占める割合は増加傾向



(※) 人事制度改定により2017年度より主任以上で算出（それ以前は代理補以上）

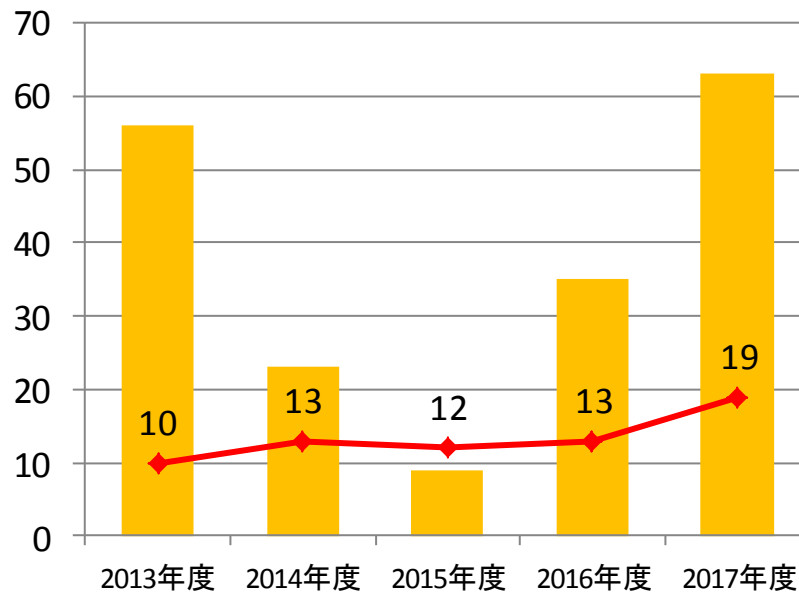
企業の社会的責任への取り組み

振込め詐欺の未然防止

特殊詐欺67件/187百万円を未然防止
(2013年度～2017年度)

【金額単位:百万円】

■ 金額 ◆ 件数



社会問題化している「特殊詐欺」からお客さまの大切なご資産を守り、安心してサービスを受けていただくために様々な取り組みを行っています。

(※) 2017年の滋賀県の特種詐欺発生状況
161件/493百万円

《取組内容》

1. 店頭・ATMコーナーで職員による声かけとお客さまの表情や言動などへの気配りの徹底
2. ATMコーナーやロビーへのポスター掲示
3. ホームページへ注意喚起の掲載
4. 行内研修の実施
5. 各支店での講習会の実施
6. 特殊詐欺未然防止感謝状拝受者の行内表彰と未然防止の好事例をタイムリーに全店共有
7. 警察や関係団体等との連携強化
8. 「預手プラン(※)」の導入

(※) 預手プラン

・窓口でご高齢のお客さまから多額の現金引き出しのお申し出がある場合、資金用途などの確認に加えて、お振込みや自行あて小切手(預金小切手)のご利用をお勧めするもの。

地域社会への感謝活動

- 地域社会の皆さまへのこれまでのご愛顧に対する感謝を込めて、各地域の埋もれた歴史や伝統行事、文化、産業などのPR活動や整備活動に取り組んでいます。

地域	取り組み内容
大津	びわ湖比良比叡トレイルへの協賛
	蘆花浅水荘の保全活動と茶室修繕活動
	セタシジミ・瀬田川観光遊覧船の復活
栗東	金勝山の森林保全活動への協力
野洲	須原ゆりかご水田せせらぎの里イベントへの協力
八幡	琵琶パール復活プロジェクトの実施 (八幡エリア、湖北エリアでの合同実施)
	観音寺城跡整備プロジェクトへの参加
多賀	神あかり2018石ころあかりの設置
彦根	佐和山城址ハイキングコースの整備活動
八日市	箕作山ハイキングコースの整備活動
水口	水口岡山城の会への協力
	湖南三山寺院周辺の清掃活動の実施
湖西	高島市6城址の狼煙リレーの参加、開催協力
湖北	こだかみ茶収穫まつりへの参加
京都	鴨川定例クリーンハイクへの協力
山科	山科疎水の整備活動
大阪	セレッソ大阪堺レディース公式試合への協賛
東京東海	伊賀上野NINJAフェスタ2018への協力

(※) 実施予定含む

こだかみ茶収穫まつり



「こだかみ茶収穫まつり」に参加、お茶摘みと昔ながらの製茶体験に挑戦

ゆりかご水田 田植えボランティア



びわ湖と共存する農業「ゆりかご水田」の取り組みの一環である田植えに参加

観音寺城プロジェクト

埋もれた地域資源の再発見！地域社会とともに創る新たな未来。

- 滋賀県には全国第4位となる819件の重要文化財（国宝を含む、2018年3月1日現在）が存在。
- 重要文化財以外も含め、歴史的価値のある遺産が多数存在しているにも関わらず、整備が行き届かなかったり、広く知られずに“埋もれた”状態にあるものが少なくない。

“埋もれた”宝



日本100名城
滋賀県には4つ

小谷城
彦根城
安土城
観音寺城

どうすれば
知名度を
高められるか？

地域での協働



2017年から安土中学校の
課外授業に！

今年度は1年生が見学、
3年生が整備プロジェクトに参加！

地域の宝に



スポーツ振興を通じた地方創生

「しがぎん創立85周年アニバーサリーマッチ」開催

- 「セレッソ大阪堺レディース VS AC長野パルセイロ・レディース」の冠協賛試合を開催。
- 当日は、「世界に羽ばたくサッカー選手を滋賀から」との思いを込めて、小学生を対象としたサッカー教室を開催。



本資料に関するご照会先

本資料には、将来の業績に関わる記述が含まれています。
こうした記述は、将来の業績を保証するものではなく、
リスクや不確実性を内包するものです。
将来の業績は、経営環境の変化などにより、
目標対比異なる可能性があることにご留意ください。

<本資料に関するご照会先>

滋賀銀行 総合企画部 経営企画グループ
電話 077-521-2200
FAX 077-521-2890
ホームページ <http://www.shigagin.com/>

